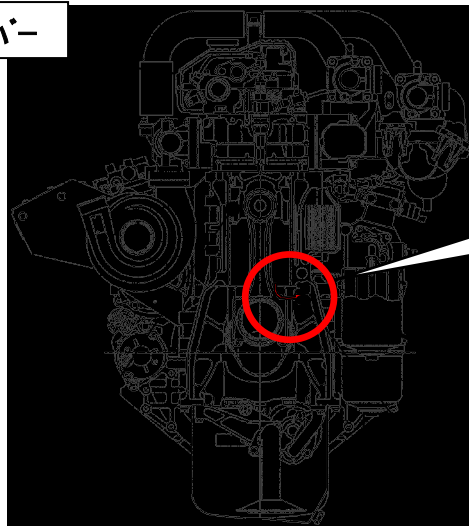


改善箇所説明図

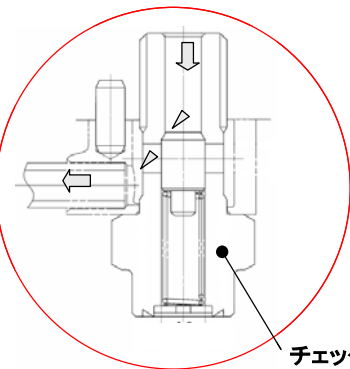


ロッカカバー



エンジン断面図

↓ : オイルの流れ



チェックバルブ

対装置

基準不適合発生箇所

原動機において、ピストン冷却用オイル噴射装置のチェックバルブボディの剛性が不足しているため、当該バルブを組み付けた際にボディが変形し、オイルが噴射されず、ピストンが冷却されないものがある。そのため、そのまま使用を続けると、当該ピストンの温度が上昇して亀裂又は焼き付きが発生し、最悪の場合、オイルが漏れ、火災が発生する。又は、走行不能になるおそれがある。

改善措置の内容

全車両、気筒毎にチェックバルブの機能を点検し、作動不良があった場合、当該気筒のピストン一式（ピストン、シリンダーライナー等）を新品に交換する。また、全車両、チェックバルブを対策品に交換する。

なお、対策品の全数供給までに時間を要するため、暫定措置として当該噴射装置がオイルを噴射する場合には、後日、チェックバルブを対策品と交換する。

注 : は、交換部品を示す。

識別 : 作業完了車には、「HD-64」の文字が記載されたシールを助手席リヤドアピラーストライカー付近に貼付ける。 暫定 : 青色、恒久 : 白黄色